

西暦 2026 年 3 月 27 日 第 1 版

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

当院における高齢者大腿骨近位部骨折の緊急整復固定加算・緊急挿入加算の算定阻害因子

[研究責任者] 整形外科 部長 宮本 俊之

[研究の背景]

高齢者の大腿骨近位部骨折では、できるだけ早く手術を行うことが大切とされています。2022 年度の診療報酬改定では、一定の条件を満たして早期に手術を行った場合に算定できる緊急整復固定加算・緊急挿入加算が新設されました。しかし、病院が早期手術に対応していても、制度上の要件により加算を算定できない場合があります。

[研究の目的]

当院で大腿骨近位部骨折の手術を受けた患者さんについて、緊急整復固定加算・緊急挿入加算を算定できたかどうか、また算定できなかった理由を調べ、制度上の課題を明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2022 年 6 月 1 日～2025 年 5 月 31 日までに国立病院機構長崎医療センター整形外科で大腿骨近位部骨折に対して手術加療を行った患者さん

●研究期間: 倫理委員会承認日～西暦 2027 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：該当なし

カルテ情報：1.年齢、2.性別、3.診断名、4.受傷日時、5.入院日時、6.手術日時、7.術式、8.受傷から入院までの時間、9.受傷から手術までの時間、10.入院から手術までの時間、11.緊急整復固定加算・緊急挿入加算の算定可否、12.算定不可理由

●検体および情報の管理

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

研究責任者 整形外科 部長 宮本 俊之

電話番号:0957-52-3121(代表)